



令和2年度 印西市家庭教育学級だより

かてきょう通信 NO. 2

令和2年 6月上旬発行



家庭教育学級の活動って、 どんなことをやるの？

学校が再開され、子供たちの声が校舎に響くようになってきました。お子さんは元気に過ごしていますか。今年度のようにスタートから臨時休校（休園）となるのは、初めてのことで、誰も不安な気持ちになってしまいがちです。気分転換を図りながら過ごすとともに、新たな日常をみんなで作る努力をしていきたいものです。

さて、家庭教育学級の活動は、例年ですと、次のようになっています。

- ① 幼稚園、小中学校1年生の保護者による必修家庭教育学級を実施
- ② そのほか、希望により学年ごとに学年家庭教育学級を実施
- ③ 必修学級は年間7回、その他の学年では5回以上を計画する。
- ④ テーマ
 - ◇人権・同和教育に関する学習
 - ◇シアターフォーラム（映像視聴）
 - ◇家庭教育の具体的課題に関する学習
 - ◇「社会を明るくする運動・青少年健全育成大会」への参加



しかし、今年は期間も短くなりますので、回数・内容は縮小し、無理のないように計画してください。（3回程度で） ※今年度、社会を明るくする運動の行事は中止となりました。

運営委員の方には、家庭教育学級でご指導いただける講師・見学施設・市で用意できる出前講座の一覧を運営委員会の際にお渡しします。その中から、参加人数や時期に応じた講座を計画していただくことができます。（運営委員会は状況を見て、決まり次第連絡します。）

各学校の教頭先生は、家庭教育学級主事として委嘱されていますので、相談に乗っていただきながら計画をたててください。

例えば、校長先生・教頭先生・スクールカウンセラー・市担当職員や指導員等の講話、給食センター・博物館等の見学、健康や教養の体験講座・・・いろいろと考えられますのでご検討ください。次号では、昨年の例をお伝えします。

◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会

教育部生涯学習課 推進係 （担当 渡辺・海老原）

【電話】0476-33-4713

